

ほぼ100%殺菌、消臭効果も

空気清浄機共同で開発

ビル管理の大高商事(宇都宮市宝木本町、高橋和夫社長)は18日までに、従来より殺菌、消臭効果に優れた室内空気清浄機を開発した。宇都宮大と共同で開発した。高電場プラズマを発生させ、ほぼ100%殺菌するという。25日に都内で開かれる日本環境管理学会発表し、来年1月の販売開始を目指す。

(中野 豊)

宇都宮の大高商事と宇大

来年1月の発売目指す

開発した空気清浄機は、穴を開けたステンレス素材に電極を通して、高電場プラズマを断続的に発生させる。浮遊物を含む空気や汚染された空気が電極間を通過すると、浮遊物

を取り除かれ悪臭の元

となるガスも分解されるという。

機器をエアコン内部のダクト出口にセットし、使用する。病院などの医療機関、養護施設などでの需要を見込

む。2007年から09年にかけて、当時の宇都宮大工学部教授、西田靖氏と共同で研究。09年7月に特許を申請

した。完成品を100セットつくり、現在は詳細な実証実験を実施している。9月ごろから商品化に取り組む方針だ。初年度は2千台、3億円の売り上げを目指す。

高橋社長は「病院や福祉施設、学校やホテルなど、不特定多数の人が出入りする場所で効果を発揮する」と話している。



開発した空気清浄機の機器を持つ大高商事の高橋社長―宇都宮市宝木本町の同社